

離島の振興を促進するための
萩市における産業の振興に関する計画

平成31年1月

山口県萩市

1 計画策定の趣旨

(1) 萩市の経緯及び地勢

萩市は、山口県の北部に位置し、平成 17 年 3 月 6 日に旧萩市・川上村・田万川町・むつみ村・須佐町・旭村・福栄村が合併しました。

総面積は 698.31 km²で、北部は日本海に面し、東部は益田市（島根県）、津和野町（島根県）、阿武町、南東部は山口市、西部は長門市、美祢市に接しています。

地形は、全体として東部の中国山地から北西部の日本海に向かう傾斜地で、南部市境界付近に標高 700m を超える山々が連なっています。低地は少なく、阿武川河口部に形成された三角州にある市街地とその周辺地に見られ、丘陵地は、田万川地域から須佐地域にかけての臨海部に比較的なだらかに広がっている程度で、大半を山地が占めています。

日本海の沖合いには、見島、大島、櫃島、相島、羽島、肥島、尾島の 7 つの火山島が浮かんでいます。そのうち見島、大島、相島、櫃島は有人島で、離島振興法における離島振興対策実施地域に萩諸島地域として指定されています。

なお、見島は、有人国境離島地域の保全及び特定有人国境離島地域に係る地域社会の維持に関する特別措置法により特定有人国境離島に位置付けられています。

(2) 萩諸島地域の地勢

見島は萩市の北西 44.3 km、山口県最北端の島であり、全島が丘陵性の地形で海岸沿いの入り江に「本村」、「宇津」の 2 つの集落が形成され、島の大部分は北長門海岸国定公園に指定されています。

大島は萩市の北約 8 km に位置し、島全体が台地状で、島の南岸沿いの集落のある部分を除き、島の周囲は断崖となっています。島の大部分は、北長門海岸国定公園の指定を受けています。櫃島は萩市の北方 10.5 km、相島は萩市の北方 14.5 km に位置し、島全体が台地状となっており、集落は台地上にまとまって形成されています。

(3) 萩諸島地域の面積及び人口動態

萩諸島地域の面積及び人口動態は以下のとおりです。

■萩諸島地域の面積及び人口・世帯数動態

(単位：人・世帯)

島名・面積	平成 22 年		平成 27 年		比較増減	
	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数
見 島 (7.73 km ²)	963	412	864	393	▲99	▲19
大 島 (3.00 km ²)	823	294	677	273	▲146	▲21
櫃 島 (0.83 km ²)	2	1	2	1	0	0
相 島 (2.48 km ²)	177	70	154	67	▲23	▲3
計	1,965	777	1,697	734	▲268	▲43

資料：面積は全国都道府県市区町村別面積調。人口及び世帯数は国勢調査。

(4) 萩諸島地域の産業

萩諸島地域の主要産業は第一次産業です。

見島の主要産業は水産業及び農業です。水産業は見島周辺に好漁場を有しており、近年アワビの中間育成漁場の設置等、つくり育てる水産業にも意欲的です。農業は稲作を中心とし、葉タバコ、キュウリなどの野菜の生産も盛んで本土に出荷されています。また、島内で飼育される見島牛は、日本古来の純血和種です。国の天然記念物に指定されており保存・増頭に取り組んでいます。

大島の主要産業は、農業及び水産業です。水産業はイワシ・アジ・ブリ等を主体に水揚げがあり、農業は、ブロッコリー・葉タバコを主体とする畑作が盛んです。

櫃島は農業のみで、たまねぎを中心とした農業が行われています。

相島の主産業は農業で、県内一のスイカの産地であり、スイカ・いも・葉タバコを主力としています。

また、見島、大島、相島では手付かずの自然・歴史的・文化的資源、新鮮な海の幸や農作物を観光資源として、滞在型・体験型観光の振興に取り組んでいます。

(5) 計画策定の趣旨

このような状況の中で、本市のまちづくりの指針である萩市基本ビジョンにおいても、産業活力があふれるまちづくりを基本方針として掲げるとともに、地域産業振興構想を策定し、計画的かつ戦略的に産業振興に取り組むこととしています。

本計画は、萩諸島地域における産業の現状を踏まえた課題の解決を図るため、関連計画である山口県離島振興計画の基本理念や振興方向に即して、萩諸島地域の地域資源を最大限に活用した産業振興の方針を示すものです。

2 計画の対象とする地区

本計画の対象とする地域は、離島振興対策実施地域として指定されている萩諸島地域の全域とします。

3 計画期間

本計画の計画期間は、2019年4月1日から2024年3月31日までとします。

4 萩諸島地域の産業の振興の基本的方針

(1) 萩諸島地域の産業の現状

① 萩諸島地域の特色

見島は渡り鳥の中継地として知られ、特に4月から5月の冬鳥と夏鳥が一緒に見られる時期にはバードウォッチャーが多く訪れます。夏季はスキューバダイビング客が訪れ

るとともに、年間を通じて遊漁客もあります。

大島、相島の観光客は遊漁客がほとんどですが、大島ではブロッコリーの収穫祭を、相島ではスイカオーナー制度やいも掘りフェスタを開催し誘客を図っています。

櫃島では離島体験ができる交流施設を整備し、小学生を対象にした体験学習などを行っています。

交通体系は、1日往復の定期船運行が見島は2～3便、大島は4便、相島は3便あり、島への唯一の公共交通手段であるとともに、生活必需品や島で獲れた漁獲物、農産物も輸送しています。なお、櫃島については公共交通がありません。

島内交通については、見島に2路線の県道が整備されているほかは全て市道で、主な交通手段は徒歩、自転車、自動車など本土と変わりありませんが、バスなどの公共交通機関はありません。

通信体系については、テレビ受信や携帯電話等のモバイル通信機器は、全島ともほぼ全域で本土と同程度に利用可能です。また見島、大島、相島のインターネット環境は光回線等により本土と同程度に利用可能ですが、櫃島については整備されていません。

② 近年の萩諸島地域の産業の動向

萩諸島地域における就業者数及び産業別の構成比は以下のとおりです。

萩諸島地域の主産業である第1次産業の従事者は、平成27年国勢調査時で507人です。平成22年国勢調査時の561人と比較すると9.63%の減少となっています。

■萩諸島地域の就業者数及び産業別構成比

島名	総数	農業		漁業		第2次産業		第3次産業		分類不能
		人数 (人)	比率 (%)	人数 (人)	比率 (%)	人数 (人)	比率 (%)	人数 (人)	比率 (%)	
見島	508	71	13.98	107	21.06	20	3.94	309	60.83	1
大島	384	61	15.89	177	46.09	28	7.29	118	30.73	0
櫃島	2	2	100	0	0	0	0	0	0	0
相島	117	67	57.26	22	18.80	0	0	28	23.93	0
計	1,011	201	19.88	306	30.27	48	4.75	455	45.00	1

資料：平成27年国勢調査

ア 製造業関係

見島では、ウニの瓶詰やきゅうりの漬物、大島ではイカの一晩干しやブロッコリーの漬物など、各島の主要な水産物、農産物を活用した商品が製造されています。相島及び櫃島では製造業への取組は進んでいません。

平成21年経済センサス基礎調査による製造業の事業所数は、見島は事業所なし、大島1事業所であったものが平成26年同調査では見島2事業所、大島3事業所と増加してい

ます。その要因としては、離島において農水産物を活用した特産品開発に取り組んだことが考えられます。

イ 旅館業関係

島内の宿泊施設は、主に遊漁客を中心とした観光客に加え、島内の建設工事に伴う事業者の利用が多くみられます。特に見島などの定期船が少ない離島においては、島内の建設工事等の影響で、長期間にわたり工事関係者が宿泊施設を利用する例がみられます。

平成 29 年 4 月現在で、見島は旅館が 5 軒と民宿 2 軒、大島は旅館が 2 軒、相島は旅館が 1 軒、櫃島には民間の宿泊施設はありません。

事業所数は平成 25 年と比較して、見島で旅館が 2 軒減少、大島で旅館が 1 軒増加、相島、櫃島は増減がありません。また、宿泊者数は平成 25 年と平成 29 年を比較すると大島、相島はほぼ同数です。見島は若干増加していますが、平成 28 年から島内で行われた工事の関係者が宿泊したことが影響しているものと考えられます。

■ 萩諸島地域の宿泊施設数及び宿泊者数

島名	宿泊施設数 (軒)			宿泊者数 (人)		
	平成 25 年	平成 29 年	比較	平成 24 年 3 月～ 平成 25 年 2 月	平成 28 年 3 月～ 平成 29 年 2 月	比較
見 島	9	7	▲2	1,611	1,637	26
大 島	1	2	1	322	326	4
櫃 島	0	0	0	0	0	0
相 島	1	1	0	55	53	▲2
計	11	10	▲1	1,988	2,016	28

資料: 各年度の離島振興事業計画(萩市作成)

ウ 農林水産物等販売業関係

見島の農業は、稲作を中心に、葉タバコ、キュウリなどの野菜の生産が行われていますが、傾斜地が多く立地条件に恵まれていません。また、水産業は一本釣りや採介藻を中心に営まれ、ブリ、アマダイ、ウニ、サザエなどが水揚げされています。

大島の農業は、畑作を中心に、ブロッコリー、葉タバコ、ソバなどが生産されています。水産業は、まき網、たて網、一本釣りを中心に営まれ、アジ、イワシ、サバなどが水揚げされ、県内でも有数の漁獲高を誇っています。特に主力魚種であるアジは、萩のブランド魚「瀬つきあじ」として関西・関東方面へPRしています。

相島の農業は、畑作を中心にスイカ、いも、葉タバコなどの生産が行われています。特にスイカは県内一の名産地となっています。また「スイカオーナー制度」や「いも掘りフェスタ」などの体験イベントを展開し消費者との交流を図っています。水産業は、採介藻や一本釣りを中心に営まれ、サザエ、アワビ、タイなどが水揚げされています。

櫃島の農業は、畑作を中心にタマネギの栽培が行われています。水産業は営まれてい

ません。

各島の農水産業の就業者数は以下のとおりです。

■ 萩諸島地域の農水産業の就業者数

島名	農業就業者数（人）			漁業就業者数（人）		
	平成 22 年	平成 27 年	比較	平成 22 年	平成 27 年	比較
見 島	90	71	▲19	117	107	▲10
大 島	71	61	▲10	188	177	▲11
櫃 島	2	2	0	0	0	0
相 島	72	67	▲5	21	22	1
計	235	201	▲34	326	306	▲20

資料：国勢調査

エ 情報サービス業等関係

大島では島民の負担により、平成元年に組合を設立しテレビ共同受信施設が整備されていますが、その他の島では情報サービス業等の取組は進んでいません。

(2) 萩諸島地域の産業振興を図る上での課題

① 業種共通の課題

離島航路は、本土と離島を結ぶ唯一の公共交通機関であり産業振興には必要不可欠であることから、航路を維持する必要があります。

② 製造業の課題

各島で、主要な水産物、農産物を活用した加工食品の製造に取り組んでいますが、ブランド力の強化及び販路の拡大が課題となっています。

③ 旅館業（観光業）の課題

各島の自然・文化資源を活用し、滞在型・体験型観光に取り組んでいますが、宿泊施設の後継者不足が課題となっています。

④ 農林水産物等販売業の課題

農業は、各島の主要作物であった葉タバコの減反政策をきっかけに、大島ではソバ、相島ではいもなど、新たな名産となる作物も栽培されていますが、農業従事者の高齢化や少子化、経営環境の厳しさ等から後継者不足が課題となっています。

水産業は、養殖や種苗放流等により水産資源の増大を図っていますが、漁獲量の減少が課題となっています。また、魚価の低迷により経営は厳しくなっています。

⑤ 情報サービス業等の課題

日常生活における通信基盤は本土と同程度に整備されていますが、情報サービス業等を誘致又は創業するには専門的な知識や技術を持つ人材の確保が課題となっています。

5 産業の振興の対象とする事業が属する業種

本計画における業種は、次の業種とします。

- (1) 製造業
- (2) 旅館業
- (3) 農林水産物等販売業
- (4) 情報サービス業等

6 事業の振興のために推進しようとする取組・関係団体等との役割分担

(1) 本市が実施する施策

① 共通項目

- ア 租税特別措置の活用促進
- イ 税制特別措置を活用し固定資産税の優遇措置の実施
- ウ 離島航路と島内交通の確保
- エ 地域資源を活用した産業創出の支援
- オ コミュニティビジネス創出の支援
- カ 離島留学の推進等による関係人口の創出
- キ U J I ターン者等による定住促進
- ク 多様化する働き方へ対応する環境整備

② 製造業

- ア 新技術の情報提供などによる新製品の開発支援
- イ 起業家との交流等によるチャレンジマインドの醸成
- ウ 「萩諸島ブランド」として萩諸島のイメージや商品群の戦略的な発信などによるブランド化の構築と販路拡大
- エ 道路・港湾・情報通信基盤などの基盤整備促進

③ 旅館業（観光業）

- ア 自然・文化・食などの離島ならではの地域資源を活かした滞在型・体験型観光商品の開発支援
- イ ターゲットへの効果的な情報発信や受け入れ環境の整備などによる観光客の誘致拡大支援
- ウ 職業相談の充実、就業情報の提供等による宿泊施設の後継者不足の解消支援

- ④ 農林水産物等販売業
 - ア 第一次産業へのスムーズな就業を促す機会の創出による担い手育成
 - イ 協業化、複合化、ロボット技術の導入などによる労働生産性の向上を支援
 - ウ 商工業・福祉・観光分野との協業・連携による労働力不足等の経営課題解消支援
 - エ ブランド化などによる付加価値の向上と戦略的な販売支援
 - オ 本土の道の駅や農林水産物直売所などにおける農林水産物等の販路拡大と流通体系の改革支援

- ⑤ 情報サービス業等
 - ア 情報通信基盤の強化など離島特有の不利益条件の解消
 - イ 創造性豊かな起業家など外部人材の確保支援

- (2) 既に実施されている都道府県・関係機関等が実施する施策
 - ① 山口県
 - ア 租税特別措置の活用の促進
 - イ 税制特例制度を活用し、事業者が設備投資等を行った場合の事業税の課税免除等による優遇措置
 - ウ 離島を含めた中山間地域における事業支援
 - エ 設備投資・雇用促進等の情報提供など、産業振興促進の支援

 - ② 萩商工会議所
 - ア 租税特別措置の活用の促進
 - イ 研修・相談等による経営改善支援
 - ウ 各種の融資事業の情報提供等による商品開発支援

 - ③ あぶらんど萩農業協同組合・山口県漁業協同組合
 - ア 租税特別措置の活用の促進
 - イ 営農支援をはじめとする事業者に対する指導
 - ウ 農産物・水産物の販路拡大
 - エ 特産品等のPRなど、産業振興への協力

 - ④ 萩市観光協会
 - ア 租税特別措置の活用の促進
 - イ イベント情報の発信等による観光客誘致拡大支援
 - ウ 滞在型・体験型観光商品の開発相談など観光事業展開の支援

(3) 行政・関係機関等が連携して取り組む事項

取組事項	取組を行う者
地域資源を活用した産業創出の支援	山口県・萩市・萩商工会議所
U J I ターン者による定住促進	山口県・萩市
新技術の情報提供などによる新製品の開発支援	山口県・萩市・萩商工会議所・あぶらんど萩農業協同組合・山口県漁業協同組合
滞在型・体験型観光商品の開発支援	山口県・萩市・萩市観光協会
観光客の誘致拡大支援	山口県・萩市・萩市観光協会
宿泊施設の後継者不足の解消支援	山口県・萩市・萩商工会議所
農林水産物等のブランド化等による付加価値の向上と戦略的な販売支援	山口県・萩市・萩商工会議所・あぶらんど萩農業協同組合・山口県漁業協同組合
農林水産物等事業者の経営課題解消支援	山口県・萩市・萩商工会議所・あぶらんど萩農業協同組合・山口県漁業協同組合
農林水産物等の販路拡大と流通体系の改革支援	山口県・萩市・萩商工会議所・あぶらんど萩農業協同組合・山口県漁業協同組合

7 計画の目標

本計画に係る計画目標は次のとおりです。

項目	製造業	農林水産物等 販売業	旅館業	情報サービス業等
新規設備投資件数	2件	2件	2件	1件
新規雇用者数	4名	4名	4名	2名